

V 「地域連携」の取組

実践協力校：石巻市立蛇田中学校



「地域連携の充実」に向けた取組

石巻市立蛇田中学校

1 ねらい

- ① 地域防災連絡会と学校運営協議会との連携や情報共有を基に、防災訓練などの充実を図る。
- ② 市総合防災訓練において、学校と地域が連携して計画、実践を行う。

2 テーマ

- ・学校と地域が連携し、防災訓練や市総合防災訓練を充実させる。

3 実施日

- (1) 第1回学校運営協議会（5月1日）
- (2) 第1回蛇田中学校区地域防災連絡協議会（6月13日）
- (3) 第2回学校運営協議会（7月16日）
- (4) 第1回「地域連携」実践委員会（7月31日）
- (5) 第2回蛇田中学校地域防災連絡会（9月5日）
- (6) 第3回学校運営協議会（10月31日）
- (7) 石巻市総合防災訓練（11月2日）
- (8) 第2回「地域連携」実践委員会（11月2日）
- (9) 火災避難訓練（11月14日）
- (10) 原子力避難訓練（11月21日）
- (11) 第3回蛇田中学校地域防災連絡会（2月5日）
- (12) 第4回学校運営協議会（2月27日）



4 実施の流れ

- (1) 第1回学校運営協議会（5月1日）
 - ・基本方針、部会の活動、意見交換などを行った。
- (2) 第1回蛇田中学校区地域防災連絡協議会（6月13日）
 - ・今年度の計画と取組の確認、市総合防災訓練についての方向性を話し合った。
- (3) 第2回学校運営協議会（7月16日）
 - ・防災支援部に避難訓練への参加協力を行った。
- (4) 第1回「地域連携」実践委員会（7月31日）
 - ・地域連携事業についての説明を受けた。
 - ・中学校での取組を説明し、東北大学災害科学国際研究所の桜井愛子教授から助言をいただいた。
- (5) 第2回蛇田中学校地域防災連絡会（9月5日）
 - ・市総合防災訓練での蛇田中学校区の取組と、行政区ごとの活動内容を確認した。
 - ・小学校でも同じ内容を確認し、2つの小学校と中学校で情報を共有した。

(6) 第3回学校運営協議会（10月31日）

- ・部会ごとの活動の確認、避難訓練への参加協力を行う。

(7) 石巻市総合防災訓練（11月2日）

- ・シェイクアウト訓練を各家庭で行い、その後、避難所までの経路を確認し、地区の活動に参加する内容で訓練に取り組み、小学校とも連携して行った。
- ・約半数の地区で活動を行い、地域の方々が中心となり生徒たちと一緒に避難所の設営や避難訓練、防災倉庫の確認、炊き出しなどを行った。



(8) 第2回「地域連携」実践委員会（11月2日）

- ・桜井教授、学校安全推進課の方に、訓練の様子を見ていただいた。
- ・桜井教授から「今回、お年寄りしかいない状況を中学生は目の当たりにしたので、中学生自身が来年に向けてどうすればよいか考えることも必要」「この訓練を、地域の子供たちの交流を深める機会にしてほしい。そのためには両者をつなぐための人材も重要である」とお話をいただいた。来年度の活動に生かしていきたい。

(9) 火災避難訓練（11月14日）

- ・訓練の概要、チェック用紙を配布し、階段、昇降口付近、校庭などで避難の様子や生徒の取組、また、避難訓練で気付いた点を見てもらった。
- ・避難経路について、改善案をいただいた。次回の訓練に生かしたい。

(10) 原子力避難訓練（11月21日）

- ・地域の方々の存在を身近に感じ、よりしっかりと訓練に取り組むことができた。
- ・前回の改善点を生かし、訓練することができた。

(11) 第3回蛇田中学校地域防災連絡会（2月5日）

- ・今年度の反省と次年度の計画を話し合った。

(12) 第4回学校運営協議会（2月27日）

- ・今年度のまとめと次年度に向けて話し合う。

5 成果

- 市総合防災訓練を通して、地域の方々と話す機会が増え、関わりを持つことができた。
- 地域との連携を通して、互いの状況を知り、理解することができた。

6 課題

- 普段から連携が大切だと感じた。地域の活動に積極的に生徒が参加する機会を作っていく。
- 活動したいが人材がいない地区もあるので、地区の合同や地域住民として意識を高める取組を中学校でも行っていく。